スムーズジャズ の ギタリスト 三者のご紹介

今回は、スムーズジャズ の ギタリストの特集としました。 ただし日本国内では、スムースジャズと呼ぶのが一般的です。 Wikipedia によれば、スムーズジャズの定義は・・・、

<<< AI による概要
スムーズジャズ（Smooth Jazz）は、1970 年代後半から 1980 年代にかけてフュージョンから派生した、耳馴染みの良さと洗練されたグルーヴ感を重視した音楽ジャンルです。
◎特徴と歴史:
音楽的特徴: 複雑なアドリブよりも、心地よいリズムやメロディ、滑らかなエレクトリック楽器のサウンドが強調されています。 使用される楽器: シンセサイザー、ファンク調のリズム、サックスやギターなどが主に使用されます。
◎誕生の背景:
アメリカのラジオ局が聴きやすいポップ・ジャズや R&B の要素を取り入れた放送枠として広めました。 スムーズジャズとは、フュージョンから派生したジャズのサブジャンルであり、即興演奏よりも心地よいリズム、グルーヴ、洗練されたメロディを重視した音楽です。 >>>

。。。とあります。 そのなかで目立ったのが下記 3 人のギターのソロイストでした。
そこで誕生日順に、ぞれぞれ 3 アルバムを発行年順に選び、その中から各 1 曲ずつご紹介しましょう。

<1> ラリー・カールトン (Lally Carlton) 生誕:1948 年 3 月 2 日（78 歳）

略歴: BB キング、ジョン・コルトレーンに影響を受け、ジャズの演奏を開始、1976 年迄はザ・クルセイダーズに参加、1985 年にアコースティック・ジャズ・アルバム制作を開始、数年間種々のプロジェクトで活躍。 1997 年よりフォー・プレイに参加し新フォープレイを確立した。

	(アルバム名) 曲番・曲名	作曲者	演奏 T	発行年月/CD 番号
1	(Alone/But Never Alone) #1 Smiles and Smiles To Go	Lally Carlton	5:46	1986/ 32DX-442
2	(Discovery) #1 Hello Tomorrow	同上	5:22	1987/ 32DX-766
3	(On Solid Ground) #5 On Solid Ground	同上	4:19	1989/ 22P2-2712

Larry Carlton (g/keys) 以外の演奏者リスト
<1> Terry Trotter (synth/kb), Abraham Laboriel (b), Rick Marotta (ds), Michael Fisher (perc)
<2>Terry Trotter (kb), John Peña (b), Rick Marotta (ds), Michael Fisher (perc),
Kirk Whalum (sax)
<3> Terry Trotter (kb), Nathan East (b),Rick Marotta (ds), Paulinho Da Costa (perc),
Kirk Whalum (sax)

スムーズジャズ の ギタリスト 三者のご紹介

<2> リー・・リトナー (Lee Ritenour) 生誕: 1952 年 1 月 11 日（74 歳）

略歴: ウェス・モンゴメリーに大きく影響され、活動を開始。　ディヴ・グルージン達とグループ活動、1990 年ボブ・ジェームス達と「フォープレイ」を結成、1996 年多忙にて翌年ラリー・カールトンが引き継いだ。　その後もラテン様式、クラシック様式等、多彩な活動。

	(アルバム名) 曲番・曲名	作曲者	演奏 T	発行年月/CD 番号
1	(Festival) #5 Waiting For You	Lee Ritenour	2:23	1988/ VDJ-1169
2	(Color Rit) #6 Color Rit	同上	4:56	1989/ VDJ-1222
3	(Wes Bound) #1 Wes Bound	同上	5:52	1993/ MVCR-129

Lee Ritenour (g) 以外の演奏者リスト
<1> Dave Grusin (kb), Marcus Miller (b), Omar Hakim (ds)
<2> Jerry Hey (tp), Jimmy Johnson (b), Carlos Vega (ds), Paulinho Da Costa (perc)
<3> Bob James (p/kb), Melvin Davis (b), Harvey Mason (ds)

<3> アール・クルー (Earl Klugh) 生誕 1953 年 9 月 16 日 (72 歳)

略歴:17 歳にてユセフ・ラティーフ、18 歳にてジョージ・ベンソンのレコーディングに参加。　GRP のディヴ・グルージンに見いだされ 1976 年初アルバム「アール・クルー」を発表。　1979 年ボブ・ジェームスとのコラボ・アルバム「ワン・オン・ワン」はグラミー賞を獲得。

	(アルバム名) 曲番・曲名	作曲者	演奏 T	CD 番号/発行年月
1	(Earl Klugh)　#7 Waltz For Debby	Bill Evance & Gene Lees	4:26	1976/ CP28-1015
2	(Finger Paintings) #8 Summer Song	Earl Klugh	4:05	1977/ CDP 0777 7 48386 2 7
3	(Heart Strings) #2 I'll See You Again	同上	5:52	1979/ G.B. 5 01726 21040 1

Earl Klugh (ag/eg) 以外の演奏者リスト
<1> Dave Grusin (kb), Lee Ritenour (g), Charles Meeks (b), Harvey Mason (ds/perc)
<2> Dave Grusin (kb), Lee Ritenour (g), Anthony Jackson (eb), Steve Gadd (ds)
<3> Phil Upchurch (eg), Greg Philliganes (kb), Charles Meeks (b), Gene Dunlap (ds)

以上